

ホームページや
SNSなどでも
様々な情報を
お知らせしています!

ホーム
ページ



インス
タ
グラム

パルシステム新潟ときめき



フェイス
ブック



LINE公式
アカウント



パルシステム連合会

ホーム
ページ



お問い合わせ先

配達・ご利用・お支払い・
組合員活動に関して
パルシステム問合せセンター

0120-868-014

(月～金曜日/9:00～20:00 土曜日/9:00～17:00)

開催報告

第10回通常総代会を開催しました

6月11日(木)、新潟ユニゾンプラザ大会議室で第10回通常総代会を開催しました。 全議案とも可決承認されました。



開催概要

- 日時:2026年6月11日(木) 午前10:00～11:45
- 会場:新潟ユニゾンプラザ 大会議室
- 総代人数:106人
- 出席総代:(採決時):97人(実出席24人、委任状出席1人、書面議決出席72人)
- 役員(1)出席(13人)
理事:瀬野悦子理事長、佐々木功専務理事、大槻久美子理事、加藤幹也理事、金澤ゆかり理事、鈴木めぐみ理事、高杉知子理事、武仲美知子理事、談麗青理事、長谷川綾理事、渡辺れい子常任理事
監事:川村久実子特定監事、佐藤健二監事
(2)欠席(0人)



瀬野悦子理事長



佐々木功専務理事



議長の本間果利也総代、
藤田重美総代

総代会議案

- 第1号議案** 2025年度事業活動報告、決算報告、損失処理案決定の件及び監査報告
- 第2号議案** 2026年度事業活動計画及び予算決定の件
- 第3号議案** 定款の一部変更の件
- 第4号議案** 役員報酬総額(限度額)決定の件

採決結果

	反対	保留	賛成	結果
第1号議案	0	0	95	可決・承認
第2号議案	3	0	92	可決・承認
第3号議案	0	0	95	可決・承認
第4号議案	0	0	95	可決・承認

第1号議案より【2025年度事業概況】

- 組合員数 19,941人(前年差: +1,084人、前年比:105.7%)
- 出資金額 2億7,218万1千円(前年差: +25,994千円、前年比:110.6%)
他に出資預り金:4,076千円

＜貸借対照表＞(2026年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	266,854,384	流動負債	244,712,399
固定資産	21,568,048	固定負債	580,625,344
		負債合計	825,337,743
		純資産合計	△536,915,311
資産合計	288,422,432	負債・純資産合計	288,422,432

＜損益計算書＞2025/4/1～2026/3/31

(単位:円)

科 目	金 額
供給高	2,366,814,306
事業総剰余金	654,985,393
事業経費	636,918,045
事業外収益	4,840,489
事業外費用	6,167,034
経常剰余金	16,740,803
法人税等	294,889
当期剰余金	16,445,914

＜損失処理案＞

(単位:円)

項 目	金 額
I. 当期首損失金	825,542,225
II. 当期剰余金	16,445,914
III. 当期末処理損失金	809,096,311
IV. 損失金処理額	0
V. 次期繰越損失金	809,096,311

※当期は損失金のため、法定準備金、教育事業繰越金の計上はありません。

第2号議案より【2026年度事業計画】

(単位:千円)

	予 算	前年比
期末登録組合員数	20,794人	104.30%
期末出資金額	297,208	109.20%
供給高	2,401,888	101.50%
経常剰余金	619	3.70%

供給高24億188万8千円、経常剰余金61万9千円を計画達成し、新規加入数4,700名を獲得することで事業基盤の確立・強化に取り組めます。

フードドライブ開催報告

総代会当日にフードドライブを実施し4種7品が集まりました。ご協力ありがとうございました。

2026年度 経営改善に向けた取り組み（第2号議案より）

2026年度は、利用組合員数と一人当たり利用金額がともに増加いたしました。
これにより、売上高に当たる供給高は23億 6,681万円と前年よりも4.6%伸長し、純利益に当たる当期剰余金は1,644万円を計上することができ、創立以来初めての黒字に転換いたしました。
しかしながら、組織全体としては未だ累積損失金（累積赤字）を抱えており、2026年10月より新潟市西区の配送センターからの直接配達エリアを一旦縮小することや手数料減免制度の一部見直しなど、経営改善に向けた抜本的な構造改革に取り組んでいく方針です。
2026年度の供給高は、前年比101.5%の24億188万円を見込んでおります。

1. 新潟センター（新潟市西区）からの直接配達地域、一旦縮小

(1) 内容
加入制限エリアにおける新潟センターからの直接配達を2026年9月5回企画で休止し、2026年10月1回企画から「パルのはこ」による宅配サービスによる個人配達へ移行いたします。

(2) 加入制限エリア(配達休止地域)
村上市、関川村、胎内市、佐渡市、阿賀町、出雲崎町、刈羽村、柏崎市、小千谷市、長岡市の一部（三島野町・滝谷町・旧川口町・旧寺泊町・旧山古志村）、燕市の一部（大河津分水以西）、魚沼市、十日町市、津南町、南魚沼市、湯沢町、上越市、妙高市、糸魚川市、ほか新規加入受付を停止している地域。

(3) 事由
加入制限エリアへの配達は新潟センターからの距離的制約により、事業経費（配達コスト）が事業剰余金を上回る構造的な赤字が継続しています。地域特性として配達先密度が低く、効率的な配達ルート確保が困難な状況です。今後も毎年度1,000万円を超える赤字見通しとなっており抜本的な事業構造の見直しが急務となっています。



(4) コスト削減効果

項目	年間削減額
車両関係費削減（※燃料代・車両リース料他）	年間約 564 万円
高速料金・フェリー代削減	年間約 643 万円
合計削減額	年間約 1,207 万円

(5) 改革ビジョン達成の加速化
早期に借入金を返済し借入金に依存した事業運営から脱却します。そして、事業運営に必要な設備や人材確保のための投資と自立的な財務基盤の構築を推進し、当該地域（一部）をカバーするための配送センター新設を検討するなど、2037年度までに「自立経営」「累積赤字の解消」「配当の実施」「創立時のありたい姿の実現」といったビジョンの実現を目指します。

2. パルシステム手数料「減免制度」一部見直し

(1) 見直しの背景、現行の収支構造、課題
当組合の財政状況と運営体制を踏まえた持続可能な制度設計が必要です。現行制度は組織の財政負担能力を超えた過大な設計となっており、本来の制度趣旨である「生活支援」と「利用実態」との間に乖離が見られます。1件あたり約556円の固定コストが発生する中、無料・安価な少額利用（2,000円未満）が適用者の約26.3%を占め、手数料無料という利点を活かした「補助的な買い物」として定着している現実があります。これにより標準手数料を負担する約50%強の組合員がその収入減少を肩代わりする構造を生んでおり、「組合員間の公平性」を損なうことにつながります。より適正な受益者負担をお願いすることで、必要とする方へのサービスを継続してまいります。

(2) 見直し内容（2026年10月より変更）

特典種類	利用金額	現行体系	変更後
①シルバー特典	2,000円以上	個人 102円 / ふれんど 51円	個人・ふれんど 102円
	2,000円未満	個人 127円 / ふれんど 64円	個人・ふれんど 127円
②フリー特典	2,000円以上	個人 0円 / ふれんど 0円	個人・ふれんど 102円
	2,000円未満	個人 50円 / ふれんど 25円	個人・ふれんど 127円

【フリー特典 対象者範囲の変更】
各種手帳をお持ちの方と同居する家族が対象ですが、介護保険被保険者証の対象を「要支援・要介護」から「要介護のみ」に変更いたします。
※今回の見直しにより、年間約800万円の収支改善を見込みます。

総代からの
主な発言

豊田春美総代
・新潟県産商品取扱の継続・拡大について
・一部地域の配達休止に伴う組合員間の不公平について
・将来の配送センター新設を含めた10年先の見通しについて

高橋華枝総代
・核兵器禁止条約への参加を求める署名取り組みにおける署名対象範囲について
・機関紙「ときめき通信」での生協としてのスタンスや平和活動に関わる情報発信について